

# 「たすけたまへ」の浄土教

## —三業帰命説の源泉と展開

真宗・仏教

いのうえけんじゅん

井上見淳著

▼A5判・上製カバー・416頁・定価六、六〇〇円

2022年5月刊行



西本願寺史上最大の異安心論争「三業惑乱」は、一宗派での一時の教義論争ではなく、蓮如が明かした信心「たすけたまへとたのむ」を起源とする、蓮如から近代までの浄土真宗の思想の根幹にかかわる大問題であった!

### 【目次】

はじめに

第一章 「たすけたまへ」の浄土教

第二章 「たすけたまへと申す」考

第三章 三業(欲生)帰命説の伝統に関する考察  
——「たすけたまへ」の発語と「改悔」

第四章 「領解文」広布の経緯に関する研究  
——能化・功存と堂達・玄智

第五章 近世真宗教団と「改悔文」

第六章 小児往生論の研究  
——名代だのみを中心として

第七章 近世における小児往生論の総括  
——論争の意義と課題

第八章 真宗史上における越後法論の位置づけ

第九章 占部観順事件の顛末  
——三業惑乱後の信願論として

第十章 真宗教学史における占部観順事件の意義  
——教学的論点の整理とその影響

最後に

巻末資料

「改悔文」刊行年表／「改悔文」諸文集

参考文献一覧／初出一覧

あとがき

索引

### ◆著者略歴

井上見淳(いのうえけんじゅん)  
一九七六年、福岡県生まれ。龍谷大学准教授。中央仏教学院講師。浄土真宗本願寺派正恩寺衆徒。  
主な著書に『真宗悪人伝』(単著、法藏館、二〇二二)、『日々の暮らして』、『歎異抄』(単著、本願寺出版社、二〇二二)、『いつでも歎異抄』(編著、本願寺出版社、二〇二二)、『勸学寮篇』(親鸞聖人の教え)(共著、永田文昌堂、二〇一七、『親鸞教義の諸問題』(共著、永田文昌堂、二〇一七)他。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
井上見淳著	
法藏館	
定価六、六〇〇円	
「たすけたまへ」の浄土教	
——三業帰命説の源泉と展開	
ISBN: 978-4-8318-7926-4 C3015	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp